

火薬類消費計画書（産業用）No.1

消 費 目 的							
消 費 期 間		年 月 日から			年 月 日まで		
消 費 場 所							
工 事 等 の 名 称							
発 注 者	住 所						
	氏名（法人にあつては、 名称及び代表者の氏名）						
消 費 従 事 者	取 扱 区 分	氏 名	住 所	年 齢	免状の種類	職 業	
	授 受 担 当 者						
	同 上						
	消 費 担 当 者						
	同 上						
	記 録 責 任 者						
消費する火薬類の種類及び 数量（1ヵ月最大消費数量）		火 薬	爆 薬		電 気 雷 管		工 業 雷 管
		k g	k g		個		個
		導 火 線	導 爆 線				
		m	m				
消 費 （ 発 破 の 方 法	1日の発破回数（最高）	回		1回の斉発散（最高）		発	
	1孔当たり装薬量（最大）	グラム		込 物		粘土・砂・くり粉	
	点 火 の 方 法	電 気 ・ 導 火 線		結 線 の 方 法		直 列 ・ 並 列	
	発 破 予 定 時 刻	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	
	発 破 器 具	発破器 ・ 導通抵抗試験器 ・ 口締器 ・ 導火線鉋					
	危 害 予 防 の 方 法	警 戒 の 方 法	警戒員の配置（別図のとおり）				
警 告 の 方 法		サイレン ・ 振鈴 ・ 呼笛 ・ 声（発破 分前）					
防 護 措 置（要・否）							
交 通 制 限（要・否）		編そだ，編木材，鉄板等を使用して飛散物を防止する。					
		通 行 車 両 等		定期バス，不定期自動車，軽車両，歩行者			
	遮 断 時 間		発破前 分から発破終了後 分まで				

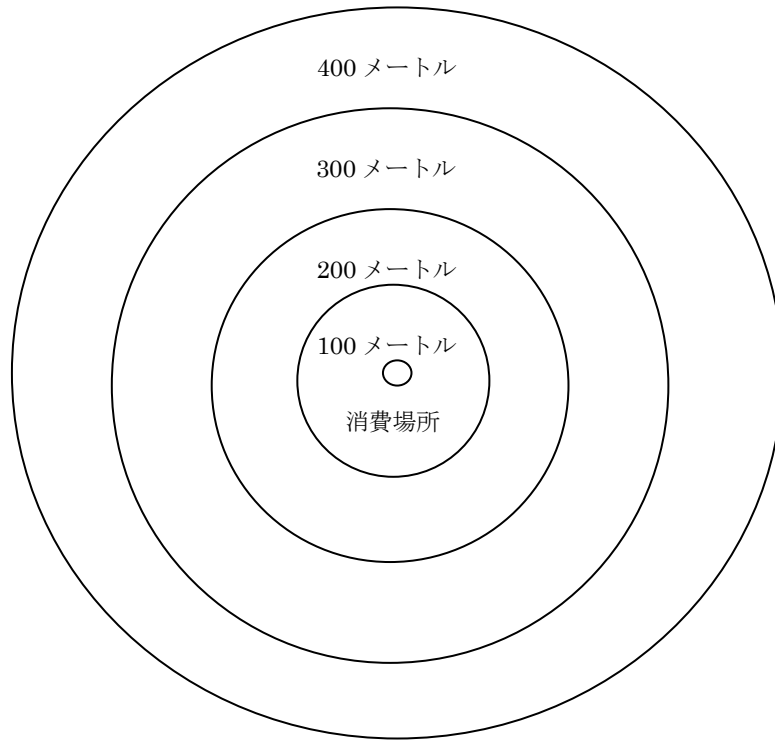
火薬類消費計画書（産業用）No.2

火薬類取扱所の概要	構 造	鉄筋コンクリート, コンクリートブロック, その他 ()					
	位 置	別図のとおり					
	存 置 量	火薬・爆薬 (kg), 雷管 (個)					
火工所の概要	構 造	コンクリートブロック, トタン板, 木造, その他 ()					
	位 置	別図のとおり					
	存 置 量	火薬・爆薬 (kg), 雷管 (個)					
貯蔵場所	自己所有火薬庫	所 在 地					
		種別及び棟数	級火薬庫 棟 (地上式, 地中式)				
	自己所有火薬庫 (庫外貯蔵庫)の最大貯蔵量	庫外貯蔵庫	所 在 地				
			火 薬	爆 薬	電 気 雷 管	工 業 雷 管	
			k g	k g	個	個	
			導 火 線	導 爆 線			
			m	m			
	借受火薬庫	所 在 地	所 在 地				
			種別及び棟数	級火薬庫 棟 (地上式, 地中式)			
		上記の火薬類を消費時間中私所有の火薬庫の保管することを承諾します。					
年 月 日		住 所 所有者 氏 名 印 (法人にあっては, 主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)					
運搬方法	譲受先 (販売店名)						
	運搬方法 (貯蔵保管場所まで)	k m	所 要 時 間	時 間 分			
	運 搬 方 法 自動車・軽車両 ()・その他 ()・委託運搬 ()						

備考 不要な文字は抹消し, かつこ内は必要事項を記入すること。

別 図

現 場 付 近 図



凡 例	発破予定個所	
	警戒表示地点	
	発破時の見張位置	
	危険区域境	
	火薬類取扱所	
	火工所	
	飛石防護柵	×××××

- 備考
- 1 図解は、消費地区を中心に半径 100 メートル単位に縮尺して記入すること。
 - 2 半径 100 メートル以内の保安物件は、名称等をなるべく詳細に記入すること。
 - 3 凡令に示すものについては、すべて朱書すること。